

北秋田市障害者計画・障害福祉計画策定委員会 北秋田市障がい者計画・障がい福祉計画(案)を答申



岸部市長に答申する市障害者計画・障害福祉計画策定委員会の佐藤会長(左)と高橋副会長

北秋田市障害者計画・障害福祉計画策定委員会の佐藤進一会長、高橋宮雄副会長らが3月13日、市役所を訪れ、市の障害者分野の総合計画となる『北秋田市障がい者計画・障がい福祉計画』を岸部市長に答申しました。

この計画は、旧心身障害者対策基本法(昭和45年)が平成5年、障害者基本法として制度が大幅に改正されたことや障害者自立支援法の成立、また市としての全体計画の必要性から、策定に向けて取り組みが進められてきたものです。

市では、新市誕生後最初の障害者計画である点を踏まえ、合わせて障害のある人の意見を反映させようというアンケートや意見交換会を行なうなど計画策定に向けた準備を進め、昨年6月28日には、学識経験者や障害者団体の代表、福祉保健事業者など

による同委員会を発足させ、これまで5回の委員会で計画案の検討を行ってきました。

計画案は、「障がい者の自立を支援する」「障がいの特性や成長段階に配慮する」「住み慣れた地域でふつと暮らす」の3つの視点を基本に、自立と社会参加を理念とした障害者の全体計画『障がい者計画』と、障害者共通の自立支援給付サービス、地域生活支援事業の具体的な見込み、実現するための方策などを盛り込んだ『障がい福祉計画』から成っています。

また、計画書の中では「障害」のイメージがやわらかくなるように障害のある人や障害という言葉を「障がい」と平かなを交えて表記されているのも特徴です。

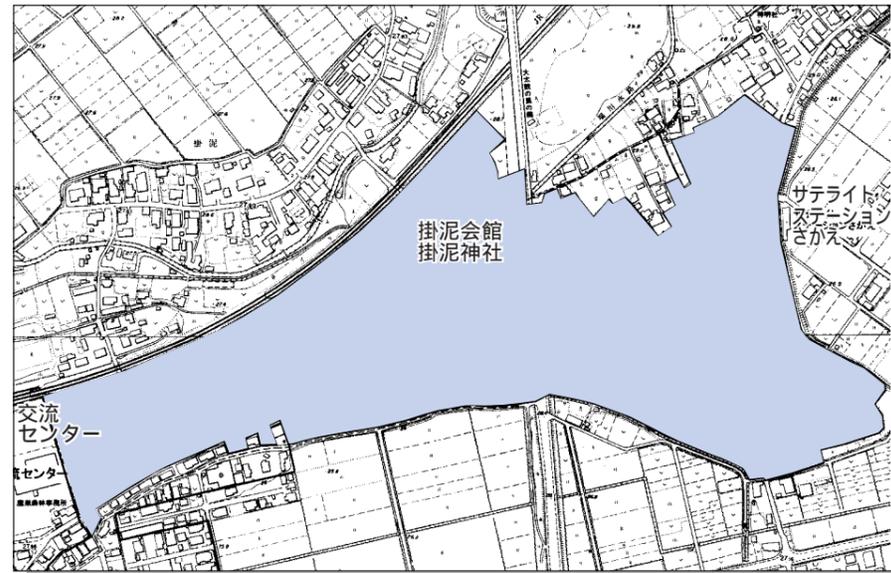
答申書を出した佐藤会長は、岸部市長に「障害者の生活支援のために、雇用の確保やグループホームの充実に取り組んでほしい」と要望。

答申を受けて岸部市長は、「市民病院(仮称)では、はじめから心身の障害に対応した機能を持たせているが、医療や保健・福祉分野に限らず、行政全般に障害者の視点を入れながら、答申の内容に沿って計画推進に取り組んでまいりたい」と述べていました。

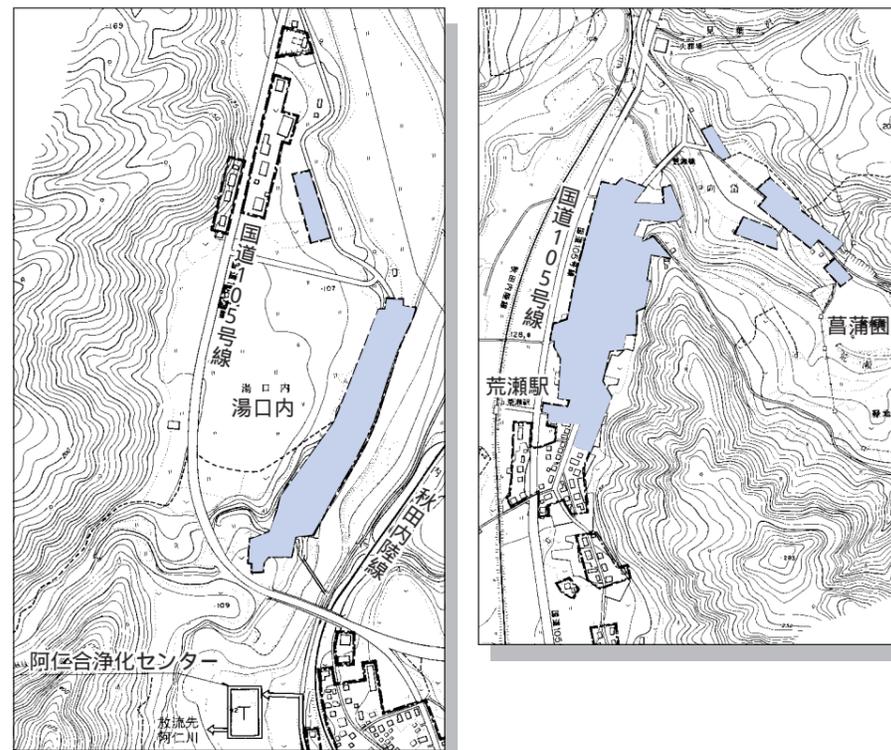
計画期間は平成19年度から23年度までの5年間。市では、答申内容を精査した上で成案を策定し、平成19年度からの計画期間に着実に施策、事業が推進できるように、地域自立支援協議会で点検・確保する場を用いながら進行管理に努めることとしています。

下水道の使用区域が (平成19年4月1日 使用開始区域) 拡大されます

鷹巣処理区(材木町、太田境、掛泥向、掛泥野、古閑、太田屋敷後、沼敷、太田)



阿仁合処理区(湯口内、向岱、大曲、段ノ上、中野)



下水道の使用できる区域が広がります。鷹巣処理区では、新たに材木町、太田境、掛泥向、掛泥野、古閑、太田屋敷後、沼敷、太田の各一部、阿仁合処理区は、湯口内、向岱、大曲、段ノ上、中野の各一部(図参照)が新たに加わりました。

一日も早い機会に下水道へ加入し、生活環境の改善・向上と公共用水域(河川等)の水質向上・保全にご協力をお願いします。

また、下水道の受益者負担金や下水道使用料の納付には、

口座振替による納付方法もありますのでご利用ください。

なお、市では、トイレの水洗化工事を助成するため、無利子の融資あっせん制度を設けています。希望される方は、排水設備工事の申込みをされる際に、指定工事店へその旨申し出てください。

既に使用開始された区域の皆さんは、水洗トイレへの改造は使用開始から3年以内となっていますので、速やかな下水道への加入をお願いします。

市長日誌

3/1
3/15

- 1日(木) 北秋田市上小阿仁村病院組合正副管理者会議に出席
- 阿仁中学校スキー部全国制覇報告会に出席
- 北秋中央病院運営協議会に出席
- 2日(金) 北秋田市立合川高等学校卒業式に出席
- 3日(土) 北秋田市上小阿仁村病院組合正副管理者会議・議会定例会に出席
- 6日(火) 平成19年北秋田市議会3月定例会本会議(初日)
- 7日(水) 平成19年北秋田市議会3月定例会本会議
- 8日(木) 秋田内陸線「みんなでイキイキ健康づくり列車」で健康相談と健康講座を実施
定例部長・支所長会議に出席
- 9日(金) 鷹巣南中学校卒業式に出席
鷹巣医師団定例医談会に出席
- 14日(水) 平成19年北秋田市議会3月定例会本会議(一般質問)
- 15日(木) 平成19年北秋田市議会3月定例会本会議(一般質問)